

平成22年度 政策事業総括

1 一般会計予算の総額 29,000,000 千円

2 政策事業予算の総額 6,192,406 千円

3 政策事業数 113 事業（事業費内訳を補助・単独に分けているものは、1 事業として数える。）

4 政策事業の概要

平成22年4月1日現在

| 基本目標 | 平成22年度 事業費 (単位:千円) | 事業数 | | | |
|-----------------------|--------------------------|-----|----|-----|---|
| | | 継続 | 新規 | 計 | |
| 第1章 市民と共に歩み響きあう都市 | 2,134,419 | 36 | 5 | 41 | 第1節 情報の共有化と多彩な参加による市民力を育成する 第2節 響きあい、共に育つ心身豊かな社会の実現をすすめる |
| 第2章 創意工夫に満ちた元気な都市 | 330,767 | 7 | 2 | 9 | 第1節 出会いと交流を大切に観光・コンベンション機能を充実する 第2節 地域の活力につながる商工業を振興する 第3節 個性ある都市型農漁業や創造的な活動を展開する |
| 第3章 安心して住み続けられる都市 | 214,060 | 19 | 2 | 21 | 第1節 市民の明るく安心な暮らしを支え合う 第2節 安全な都市の暮らしをまもる |
| 第4章 持続発展可能な美しい都市 | 2,829,223 | 23 | 2 | 25 | 第1節 次世代に誇れる持続発展可能な都市を形成する 第2節 快適な暮らしを支える美しい都市基盤整備をすすめる |
| 第5章 平和で発展する都市 | 147,857 | 8 | 1 | 9 | 第1節 基地の返還と市民のための跡地利用を促進する 第2節 未来に向けた平和行政を推進する |
| 序章 計画推進のために | 536,080 | 8 | 0 | 8 | 第1節 電子自治体の推進 第2節 効率的・効果的な行財政の確立 |
| 合計 | 6,192,406 | 101 | 12 | 113 | |
| 一般会計予算総額にしめる政策事業予算の割合 | 21.35% | | | | |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ | |
|----------------------|-------------------------------|----------------------|------|---|---|---|--------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|-----|
| 第1章 市民と共に歩み響きあう都市 | 1節 情報の共有化と多彩な参加による市民力を育成する | 中国廈門理工学院留学生派遣事業 | 継続 | H14 | | 友好都市中国廈門市の市立廈門理工學院に留学生を派遣し、中国に対する理解を深めるとともに国際的視野をもった人材の育成を図る。 | 1,198 | | | | | 1,198 | 76 | |
| | | 海外研修生受入事業 | 継続 | H16 | | 南米(ブラジル・ペルー・アルゼンチン)の市人会により選考・推薦した海外移住者の子弟1人を6ヶ月間受け入れる。日本語・文化等の研修を実施する。今回計画は、H23の第5回ウチナーンチュ大会へ運動させる。 | 2,297 | | | | | 2,297 | 76 | |
| | | 大謝名地区学習等供用施設建設事業 | 継続 | H21 | H22 | 地域コミュニティの育成・充実を図るための建設事業として、自治会事務所を学習等供用施設として建設事業に取り組む。 | 95,496 | 46,043 | | | | 25,167 | 24,286 | 74 |
| | | 男女共同参画支援センター建設事業(補助) | 新規 | H22 | H23 | 人材育成交流センターめぶきは、2階部分に3つの研修室を備えているが、各研修室の定員は研修室1が8人、研修室2が24人、研修室3(畳間)が15人~20人と狭く、施設の増築により、自主事業の充実、利用団体の活用促進が図られ、施設の設置目的達成に繋げる。 | 27,978 | | 22,380 | 4,100 | | | 1,498 | 82 |
| | | 男女共同参画支援センター建設事業(単独) | | | | | 58 | | | | | 58 | 83 | |
| | 2節 響きあい、共に育つ心豊かな社会の実現をすすめる | 市立体育館施設整備事業 | 継続 | H21 | | 老朽化した施設の改修及び改築を年次的に行い施設の充実を図る。 | 29,253 | | | | | | 29,253 | 88 |
| | | キャリアスタートウィーク事業 | 継続 | H18 | | 市内全中学校2年生を対象に5日間の職場体験学習を実施。個々の能力・適正に応じて主体的に進路を選択することができるよう、職場体験や就業体験をとおして、キャリア教育の推進を図り、また、中学生と地域との関わりの中から地域で子どもを育てる機運を高める。 | 771 | | | | | 771 | 205 | |
| | | 障害児等のためのヘルパー派遣事業 | 継続 | H16 | | 市内小中学校の特殊学級と通常学級の障害児が在籍する学級の支援者として障害児ヘルパーを派遣する。また、通常学級に在籍するLD(学習障害)・ADHD(注意欠陥、多動性障害)・高機能自閉症等の指導・支援者として、特別支援教育ヘルパーを派遣する。 | 15,525 | | | | | 15,525 | 205 | |
| | | 大山小学校過密解消・分離新設校関連事業 | 継続 | H21 | | 大山小学校の分離・新設校の建設に向けて、学校施設の計画及び整備に関する要件や条件を含め新たな学校づくりの方向性を示すため、「基本構想」「基本計画」を策定する。また、通学区域審議会を立ち上げ、当該校区の設定・決定に向けた地域説明会・通学区域審議会を実施、過密解消に向けた「校区編成案」の検討・策定を行うとともに、「学校名」の検討も行う。 | 7,227 | | | | | 7,227 | 215 | |
| | | 小学校英語教育課程特例校事業 | 継続 | H16 | | 市内全小学校で英語教育を実施することで、児童のコミュニケーション能力の向上、市内在住外国人等との多様な人材交流の推進が図られ、国際色豊かな特色ある地域づくりに寄与する。各小学校に外国語指導助手、日本人英語教師を配置。 | 47,953 | | | | | | 47,953 | 215 |
| 学力向上支援事業 | | 継続 | H21 | H23 | 市内小中学校で取り組んでいる学力向上対策に関して「確かな学力の向上」に係る取組事項の一つとして諸検定試験の奨励を行っている。児童生徒が受験する英語検定等各種検定試験対策を支援することを通して本市児童生徒に基礎学力向上と学習意欲の涵養に努める。 | 2,000 | | | | | 2,000 | 0 | 207 | |
| 小学校学習支援員活用事業 | 新規 | H22 | | 小学校において学習に遅れをとっている児童に対して学習支援をすることにより、自ら学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容を理解させることを目的とする。そのため、市内8小学校に学習支援員を配置する。 | 13,376 | | | | | | 13,376 | 215 | | |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規 継続 | 事業開 始年度 | 事業終 了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書の ページ |
|------|-------|-------------------------|----------|------------|------------|---|-----------|---------|------|---------|-------|---------|-------------|
| | | 嘉数小学校屋外教育環境整備事業 | 継続 | H20 | H24 | 既設校舎の全面改築(平成20年・21年)に伴い、校舎周辺等を含めて校庭を児童の学習に支障のないよう整備し、子どもたちの最も身近にある学校の屋外教育環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子どもたちを育成する。 | 6,295 | | | | | 6,295 | 216 |
| | | 大山小学校仮設校舎設置事業 | 継続 | H15 | | 児童の増加により、教室不足を解消するため仮設校舎を設置し、充実した教育環境を図る。(平成19年度36学級) 理科図工教室(172㎡) 家庭科教室 (148㎡) 債務負担行為設定(H23年度まで) | 3,598 | | | | | 3,598 | 215 |
| | | 宜野湾市中学校短期海外留学派遣事業 | 継続 | H18 | | 国際性豊かで将来郷土に尽くす有能な人材を育成するため、海外の生活習慣、文化に接し識見と教養を高め、英語学習の動機付けを図ることを目的として、市内の中学生を外国へ派遣する。対米請求権地域振興助成金充当予定。派遣人数10人(各中学校から推薦、英語ストーリーコンテスト上位入賞者) | 3,048 | | | | 1,500 | 1,548 | 221 |
| | | 宜野湾中学校校舎校舎防音機能復旧事業 | 継続 | H19 | H22 | 防音工事を実施した施設で、15年以上経過した空気調和設備の防音機能を復旧する。 | 129,806 | 121,200 | | | | 8,606 | 221 |
| | | 真志喜中学校校舎増改築事業 | 継続 | H21 | H23 | 老朽化した校舎を全面改築することにより、安全で快適な教育環境の確保を図る。 | 1,230,678 | 467,444 | | 592,000 | | 171,234 | 222 |
| | | 真志喜中学校校舎併行防音事業 | 継続 | H22 | H23 | 校舎の全面改築に併行して騒音防止対策工事を行い、良好な教育環境を提供する。 | 61,287 | 61,089 | | | | 198 | 222 |
| | | 小学校防球ネット整備事業 | 継続 | H22 | H24 | 運動場からの飛球等により周辺住民が被害を被る状況の改善を図る | 12,899 | 9,576 | | | | 3,323 | 215 |
| | | 普天間第二幼稚園園舎増築事業 | 継続 | H21 | H23 | 平成24年度から2年保育実施予定している。実施する場合、保育室不足が生じる。保育室不足を生じさせない目的で施設の増築を行う。 整備面積:約100㎡ | 3,307 | | | | | 3,307 | 230 |
| | | 宜野湾中学校校舎・武道場・水泳プール増改築事業 | 新規 | H22 | H23 | 中学校学習指導要領の改定に伴い、平成24年度より中学校武道の必修化が完全実施されることを踏まえ、武道場施設整備が必要である。又、普通教育不足解消を図るため校舎の増築及び経年劣化した水泳プールの全面改築をすることにより、教育環境の改善を図る。 | 29,618 | | | | | 29,618 | 222 |
| | | 公立小学校用地買収事業 | 新規 | H22 | H24 | 公立小学校敷地として借地している民有地及び国有地を用地買収することにより、学校施設の維持管理の向上を図ることができる。 | 20,763 | 16,949 | | | | 3,814 | 212 |
| | | 市立幼稚園2年保育モデル事業 | 継続 | H18 | | 近年の核家族化、都市化、少子化等で幼児の取り巻く環境が変化している中、近所に遊び仲間のいない幼児や親の育児不安の問題を解消するため、4歳から幼稚園保育を実施できるよう年次的に整備する。 | 9,517 | | | | 7,938 | 1,579 | 229 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|------|-------|---------------------------|------|--------|--------|--|--------|--------|-------|-----|-----|--------|---------|
| | | 放課後子ども教室推進事業 | 継続 | H19 | H23 | 放課後や週末に余裕教室を活用した「子どもの居場所づくり」を行い、家庭・学校・地域・行政がそれぞれの役割のもと、充実した情緒教育を行う。(各学校に安全管理員と学習アドバイザーを派遣) | 5,331 | | 3,554 | | | 1,777 | 233 |
| | | 学校支援地域本部事業 | 継続 | H21 | H22 | 地域全体で学校教育を支援する体制を推進するため、中学校区に「学校支援地域本部」を設置し、担当教員の補助・部活指導・校内環境の整備・登下校の安全確保等を学校支援ボランティアにて行う。活動には、ボランティアと調整を担う地域コーディネーターが必要となる。(国庫補助:100%(H21、H22のみ)) | 1,644 | | 1,644 | | | 0 | 233 |
| | | 市民会館施設整備事業 | 継続 | H20 | H29 | 文化活動の拠点である市民会館の老朽化した施設及び設備を改修し、良好な環境に保つことによって、文化振興に寄与する。 | 3,721 | 2,604 | | | | 1,117 | 84 |
| | | 中央公民館整備事業 | 新規 | H22 | H25 | 地域の人々が「集い・学び・憩いの場」として、いつでも、誰でも生涯学習に取り組めるよう、集会場及び各講座用の教室を整備する。 | 12,602 | 4,310 | | | | 8,292 | 235 |
| | | キャンブ瑞慶覧文化財保護マスタープラン策定調査事業 | 継続 | H16 | H26 | キャンブ瑞慶覧の跡地利用の促進及び円滑化に向けて、文化財の詳細な分布状況と内容の把握及び重要文化財の選定を行い、跡地利用計画と整合性を図りながら、重要文化財の保存整備マスタープランを作成する。 | 10,000 | 9,000 | | | | 1,000 | 235 |
| | | 基地内遺跡ほか発掘調査事業 | 継続 | H13 | H26 | 基地内の埋蔵文化財の試掘・確認調査及び民間地域での緊急発掘調査等により、遺跡分布状況を把握し埋蔵文化財の保存のための資料や文化財保護に対応する。(基地内遺跡発掘事前調査、市内遺跡発掘調査) | 81,717 | 63,200 | | | | 18,517 | 237 |
| | | 創作市民劇公演事業 | 継続 | H04 | | 地域の貴重な歴史や伝承・伝統文化や文化財等を題材に地域の特色を活かした創作市民劇を上演し、公演をとおして自ら住んでいる地域に関心と誇りを持ち、芸術文化の創造、地域興し及び人材育成につなげる。 | 300 | | | | | 300 | 238 |
| | | 文化財市民活用事業 | 継続 | H19 | H25 | 宜野湾市の文化財調査の成果を市民等に分かり易く様々なテーマを設定した企画展を開催し、大切な市民共有の財産である文化財を広く公開することにより、文化財がより身近なものとなり、市民の文化的生活の向上に資する。(発掘調査展、データベース作成) | 2,110 | 1,050 | 168 | | | 892 | 239 |
| | | 文化財愛護活動推進事業 | 継続 | H19 | H26 | 宜野湾市の歴史文化を知るうえで重要度の高い文化財の保護活用を図るために、文化財の新規指定を行い、指定重要文化財の所有者及び所在自治会等の関係機関が参画した文化財愛護活動を推進する。 | 338 | | | | | 338 | 239 |
| | | 文化財保存整備マスタープラン作成事業 | 継続 | H06 | H25 | 市内に所在する文化財が未整備で、市民の活用が不十分なため、文化財保存整備の基本となるマスタープランを作成し、文化財の保存・活用や市内地域のネットワーク化を図る。 | 3,500 | | | | | 3,500 | 239 |
| | | 埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業 | 継続 | H20 | H26 | 普天間飛行場基地内の洞穴遺跡の実態調査や各種調査等を実施するため、年次調査計画を含む詳細な実施計画を作成し、跡地利用計画の促進や文化財の活用を図る。 | 19,000 | 17,100 | | | | 1,900 | 240 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|------------------------------|---|---------------------------|------|--------|--------|--|-----------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|
| | | キャンブ瑞慶覧基地内埋蔵文化財文化緊急発掘調査事業 | 継続 | H19 | H26 | 当該地域には、普天間古集落遺跡等の埋蔵文化財が所在していることから、開発行為(海軍病院)によるトラブルを未然に防ぐために、緊急発掘調査を実施する。沖縄防衛局委託事業。 | 155,830 | | | | 155,830 | 0 | 239 |
| | | 図書館入退館システム導入事業 | 継続 | H20 | | 図書資料の紛失防止のため、出入り口に感知装置等機器を設置することで、毎年多く発生している不明資料を減らす。自動貸出・返却装置1台、蔵書点検用アンテナ4台の追加により、さらなる窓口業務の効率化と、蔵書点検による閉架期間の短縮を行う。 | 14,441 | | | | | 14,441 | 241 |
| | | 市内民俗芸能調査事業 | 継続 | H05 | | 市域の17カ字を対象に古地名調査を実施する。古の宜野湾の伝承衰退、消滅が危惧されるなか、地域文化を掘り起こし、記録保存することにより、市民の地域文化への啓発と高揚につなげる。 | 2,234 | | | | 1,000 | 1,234 | 242 |
| | | 企画展開催事業 | 継続 | H13 | | 地域に根ざした博物館として、一般市民と児童・生徒への教育・普及に資することを目的に、常設展示とは別に、宜野湾市の歴史・文化・自然的特色を活かした独創的で自主的な企画展を開催する。 | 3,833 | | | | | 3,833 | 243 |
| | | スクールソーシャルワーカー活用事業 | 継続 | H21 | | 心因性や遊び非行型の不登校、いじめ、暴力行為等の未然防止や早期対応に努め、問題行動の生徒への居場所づくりを推進し、学習指導や職場体験の支援で、学級復帰に繋げる。 | 4,612 | | | | | 4,612 | 246 |
| | | 教育情報通信ネットワーク整備事業 | 継続 | H14 | H24 | 教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童生徒との興味や関心に基づき創意工夫を活かした学習活動を行うため、各教科にコンピュータ等の活用を促進し、全ての教科で全ての教師がコンピュータや高度通信技術を使った授業が展開できるような学習環境を整える。 | 3,433 | | | | | 3,433 | 246 |
| | | 平成22年度全国高等学校総合体育大会推進事業 | 継続 | H19 | H22 | 高校生の祭典である全国高等学校総合体育大会の開催地として、全県的な視野で県民がスポーツに親しむ環境づくりや地域に根ざしたスポーツ拠点づくりを図るために、同大会がスムーズに実施できるように推進する。本市における競技種目は、卓球とアーチェリーの2種目。 | 39,068 | | | | 5,250 | 33,818 | 249 |
| | | 学校給食設備整備事業 | 継続 | H01 | | 厨房、備品等は使用頻度が高く老朽化が著しい上、耐用年数超過により故障も多いため、年次的に更新することで作業効率の向上と衛生管理の推進を図る。 | 16,757 | | | 14,700 | | 2,057 | 253 |
| | | 事業本数 | | 41 | | 小 計 | 2,134,419 | 819,565 | 27,746 | 610,800 | 198,685 | 477,623 | |
| 第2章 創意工夫に 満ちた元気な 都市 | 1節 出会いと交流を 大切に観光・コ ンベンション機 能を充実する | 琉球海炎祭支援事業 | 継続 | H19 | | 琉球海炎祭は日本の夏の風物詩である花火と沖縄音楽・文化の融合によるオリジナリティに溢れたエンターテインメントであり、県内の観光振興に寄与している。このイベントを支援し、観光・コンベンション機能の充実を図る。 | 2,000 | | | | | 2,000 | 173 |
| | 2節 地域の活力 につながる商 工業を振興す る | 地域職業相談室(ミニハローワーク)推進事業 | 継続 | H20 | | 市役所内に沖縄労働局の地域職業相談室(ミニハローワーク)を設置し、求職相談を支援することにより、市内求職者の就労状況の改善を図る。 | 2,465 | | | | | 2,465 | 159 |
| | | 空き店舗対策事業 | 継続 | H15 | | 市内商店街の空洞化を抑制し、商業の振興を図るため、空き店舗を利用して事業を開始する事業主に対して、最大で6ヶ月、上限を月額5万円とする家賃の半額を助成する。 | 3,330 | | | | | 3,330 | 169 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|----------------------|------------------------------|-----------------|------|--------|--------|---|---------|-------|---------|-----|-----|--------|---------|
| | | ふるさと雇用再生事業 | 継続 | H21 | H23 | 世界的に経済状況が悪化し、その影響を受け国内雇用情勢は悪化の一途を辿っている。特に非正規雇用者の雇用環境は近年まれにみる厳しさである。本事業は、非正規雇用者を積極的に採用する民間企業・NPO法人等と委託契約を結び雇用環境の改善を図る。 | 58,823 | | 58,823 | | | 0 | 159 |
| | | 緊急雇用創出事業 | 継続 | H21 | H23 | 世界的不況により、国内企業の業績悪化をもたらし、「雇い止め」等で職を失った非正規雇用労働者・中高年齢者を本市が積極的に短期雇用することで、一時的な雇用の受け皿としての役割を果たすことを目的とする。 | 76,040 | | 76,040 | | | 0 | 159 |
| | | 重点分野雇用創出事業 | 新規 | H22 | H22 | 雇用失業情勢が厳しい中で、介護・医療・農林水産・環境・観光等成長分野として期待される分野において雇用を創出する。50名程度の臨時的雇用を実現する。民間企業への委託事業となっており、観光事業であるホテル事業で、平成22年4月に新規開業予定のホテルへの委託を見込んでいる。 | 125,000 | | 125,000 | | | 0 | 160 |
| | | 地域人材育成事業 | 新規 | H22 | H22 | 雇用失業情勢が厳しい中で、介護・医療・農林水産・環境・観光等成長分野として期待される分野において雇用を創出するとともに、地域ニーズに応じた人材を育成し雇用につなげる。10名程度の臨時的雇用を実現する。民間企業への委託事業となっており、国の重点分野6事業に県が独自に追加する4重点分野の一つに情報通信業があり、同事業のIT人材育成事業で委託を見込んでいる。 | 25,000 | | 25,000 | | | 0 | 160 |
| | 3節 個性ある都市型農漁業や創造的な活動を展開する | 大山田いも栽培地区振興事業 | 継続 | H18 | | 平成20年度に策定した宜野湾市大山田いも栽培地区振興基本計画の中で、農住組合土地区画整理事業により農地を集約し「田いも生産ゾーン」の面積を約15ha確保し、地区南部陸側へ設定する。各種基盤・施設等の整備で農道や区画道路を始め、田いも生産ゾーンにおいては集出荷施設や簡易直売所、市民農園等の整備を図り、宅地開発ゾーンにおいては公園・緑地等の整備を図る。 | 4,461 | | | | | 4,461 | 165 |
| | | 宜野湾漁港環境整備事業(補助) | 継続 | H20 | H21 | 仮設避難港周辺整備、マリン支援センターとの連携を図り、漁港環境向上に必要な施設等を整備するとともに、漁港における景観の保持・美化を図り、快適にして潤いのある漁港環境を形成する。 | 31,791 | | 26,075 | | | 5,716 | 168 |
| | | 宜野湾漁港環境整備事業(単独) | | | | | 1,857 | | | | | 1,857 | 168 |
| | 事業本数 | 9 | | | 小計 | | 330,767 | 0 | 310,938 | 0 | 0 | 19,829 | |
| 第3章 安心して住み続けられる都市 | 1節 市民の明るく安心なくらしを支え合う | 地域福祉推進事業 | 継続 | H19 | | 地域福祉計画を推進するため、社会福祉協議会に地域福祉コーディネーター及びボランティアコーディネーターを配置し、地域にネットワークを組織化し地域住民参加による社会福祉の増進を図る。事業については、社会福祉協議会に委託。 | 18,120 | 8,590 | | | | 9,530 | 106 |
| | | 第二次地域福祉計画策定事業 | 継続 | H21 | H22 | 宜野湾市地域福祉計画(平成18年3月)の目標達成のため、様々な個別の行動計画を立て、地域福祉関係事業を実施してきた。平成21年度から、これまでの3年間にわたる事業の進捗状況や効果を評価し、平成23年度から5年間の第二次地域福祉計画を策定する。 | 4,422 | | | | | 4,422 | 108 |
| | | 宜野湾市シルバーパスポート事業 | 継続 | H19 | | 市内在住の65歳以上の方に「シルバーパスポート」を交付し公共施設料金の免除・減免や市民会館等で開催される市主催の各種イベントや市内の民営施設利用割引等を実施し、高齢者の生き甲斐づくりや閉じこもり防止を図る。満75歳以上の方には市内民営施設利用権を交付し社会参加の機会を促進。 | 6,318 | | | | | 6,318 | 113 |
| | | 障害者社会参加促進等事業 | 継続 | H19 | | 障害者の社会参加を促進するため、スポーツ・芸術文化活動・点字・声の広報等発行、奉仕員養成等を行う。事業については、社会福祉協議会に委託する。 | 6,849 | 3,425 | 1,712 | | | 1,712 | 119 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規 継続 | 事業開 始年度 | 事業終 了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書の ページ |
|------|-------|--------------------|----------|------------|------------|---|--------|--------|--------|-----|-----|--------|-------------|
| | | 障害者日中一時支援事業 | 継続 | H19 | | 障害者福祉サービス事業所へ委託して日中、障害児者等へ活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練や支援を行うことにより、家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を図る。また市内サービス事業所に対し、事業運営の安定化を図るために補助金を交付する。 | 36,589 | 18,294 | 9,147 | | | 9,148 | 120 |
| | | 宜野湾市グループホーム等整備補助事業 | 新規 | H22 | | 福祉施設の入所者や退院可能な障がい者の地域生活への移行を推進することを目的として、沖縄県グループホーム等整備推進事業を活用し、グループホーム等の整備を行った法人に対し、その対象経費の一部を補助する。 | 810 | | | | | 810 | 121 |
| | | ひとり親家庭自立支援対策事業 | 継続 | H19 | | 自立促進計画の運用や、母子家庭に対する経済的自立のために、教育訓練給付及び高等技能訓練促進費を支給する。 | 12,298 | 2,688 | 5,076 | | | 4,534 | 123 |
| | | 育児支援家庭訪問事業 | 継続 | H17 | | 養育支援が必要な家庭に対し、家庭訪問による育児支援を行うことにより、安定した児童の養育と、児童虐待の未然防止を図る。 | 2,070 | 1,035 | | | | 1,035 | 123 |
| | | DV・女性保護対策事業 | 継続 | H17 | | 売春防止法及び配偶者や親しい男性から暴力を振るわれている要保護女性の早期発見及び保護更正を図ると共に、全ての女性の様々な悩みの解決のため、専任の女性相談員を配置し、相談及び指導を行い、あらゆる方面からの自立支援を図る。 | 1,974 | 666 | | | | 1,308 | 125 |
| | | 児童虐待防止ネットワーク事業 | 継続 | H15 | | 児童虐待の諸問題に対応するため、各関係機関、団体等相互の連携を強化し、児童虐待の早期発見及び再発防止を図るためのネットワークを設置し、運営を行う。 | 7,193 | 3,596 | | | | 3,597 | 125 |
| | | ファミリーサポートセンター事業 | 継続 | H18 | | 育児の援助を行いたい者と受けたい者でセンターの会員を組織し、地域で子育てを支援することで育児しやすい環境を整える。 | 4,658 | 2,329 | | | | 2,329 | 135 |
| | | 待機児童対策特別事業 | 継続 | H21 | | 認可外保育施設の認可促進、保育所入所待機児童の適切な保護及び認可保育施設入所児童の処遇向上を図ることを目的とした事業を実施する。(施設修繕費、運営費の助成) | 70,047 | | 63,288 | | | 6,759 | 135 |
| | | 児童健全育成巡回モデル事業 | 継続 | H18 | | 児童厚生員を地域に派遣して、児童に遊びの指導をとおして、健康増進や情操を豊かにし、児童の健全育成を図る。 | 3,455 | | | | | 3,455 | 140 |
| | | 児童の医療費助成事業(単独) | 継続 | H19 | | 児童に係る医療費につき、通院は4歳、入院は6歳に達した日以後の最初の4月1日から中学校卒業までの一部負担金を助成し、児童の健全育成や少子化対策等を図るとともに、受給対象者の経済的負担軽減を図る。 | 21,564 | | | | | 21,564 | 150 |
| | | こんには赤ちゃん事業 | 継続 | H21 | | 生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、様々な不安・悩み等を聞き子育て支援に関する情報提供を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供をする。(訪問支援員の研修、家庭訪問の実施(健康増進課へ依頼)) | 1,949 | 974 | | | | 975 | 126 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|-----------------------------|--|--------------------|------|--------|--------|---|---------|---------|-------|--------|--------|-------|---------|
| | | 地域健康づくり支援事業 | 継続 | H22 | | 生活習慣病の予防の為には日頃から運動習慣を定着することが大切です。子どもから高齢者までの年齢層に幅広くオリジナル健康体操やウォーキング、健康器具を利用した運動等を提供することで、市民が楽しみながら健康づくりが行えるきっかけとする。 | 2,803 | | | | | 2,803 | 154 |
| | | 子育て支援ブックスタート事業 | 継続 | H20 | | 乳幼児診断(9～11ヶ月)に参加した赤ちゃんと保護者を対象に、赤ちゃんにおすすめの絵本1冊と絵本・ブックリストなどの資料、子育てプラン等メッセージを伝えながら手渡すことで、乳幼児の心と体が豊かに育つことを支援する。 | 2,764 | | | | | 2,764 | 241 |
| | 2節 安全な都市の くらしをまもる | 災害時要援護者支援ネットワーク事業 | 継続 | H18 | | 災害時に自力で避難することが困難な人に対して支援を行う「災害時要援護者避難支援対策協議会」を結成し、ネットワークを構築することで、災害時における支援対策を迅速・効果的に展開する体制を推進する。 | 200 | | | | | 200 | 86 |
| | | 自主防災組織育成事業 | 継続 | H18 | | 自治会や地域の活動団体等が主体的に防災組織を立ち上げ、消火・救助・援護等の防災活動が行えるよう活動拠点を整備し、活動に必要な防災資機材を配備するなど、支援・育成を行う。 | 381 | | | | | 381 | 87 |
| | | 宜野湾市地域防災計画等見直し策定事業 | 新規 | H22 | | 宜野湾市の地域にかかる災害対策に関する事項を定め、総合的かつ計画的な防災行政の整備を図り、防災体制の万全を期することを目的とし、地域防災計画の修正、ハザードマップの作成、職員初動マニュアルの作成を行う。 | 5,250 | | | | | 5,250 | 87 |
| | | 消防備品整備事業 | 継続 | H2 | | 石油貯蔵施設の災害発生に対処するため、老朽化した緊急自動車及び資機材を更新し、消防力の充実・強化を図る。 | 4,346 | | 3,179 | | | 1,167 | 199 |
| | 事業本数 | 21 | | | 小 計 | 214,060 | 41,597 | 82,402 | 0 | 0 | 90,061 | | |
| 第4章 持続発展可 能な美しい都 市 | 2節 快適なくらしを 支える美しい 都市基盤整備 をすすめる | 未買収道路用地取得事業 | 継続 | H18 | H29 | 市道の効果的な活用を図るため、市道認定路線内の潰地を取得する。市道潰地補償基金を活用し事業を行う。 | 60,000 | | | | 60,000 | 0 | 178 |
| | | 大山7号道路改良事業 (補助) | 継続 | H14 | | 本事業は、国道58号と国道58号バイパスを結ぶ道路で近隣には大山小学校やマリ支援センター建設が予定されており、通学路の確保や交通渋滞の解消、歩行者の安全確保のため整備する。幅員=12m～15m 整備延長800m | 468,790 | 374,929 | | 84,359 | | 9,502 | 181 |
| | | 大山7号道路関連事業 (単独) | | | | | 8,100 | | | | | 8,100 | 181 |
| | | 伊佐大山線区画整理道路取付部改良事業 | 継続 | H20 | H23 | 当該箇所は区画整理道路より伊佐大山線への道路幅が3.7m程度で、通行に支障をきたしていることから、道路幅を6～8mに拡幅することで改善を図る。 | 15,463 | 7,679 | | | | 7,784 | 181 |
| | | 嘉数3号・8号道路整備事業 | 継続 | H20 | H22 | 道路線形の形成・路面排水のスムーズな処理のため、路面改修、道路側溝を整備することによって、生活環境の整備を図る。特定防衛施設周辺整備調整交付金充当予定。 | 17,705 | 12,920 | | | | 4,785 | 182 |
| | | 嘉数1号道路整備事業 | 継続 | H20 | H24 | 本路線は、幅員が狭小で道路側溝が整備されておらず、車両の交通も交錯し、危険な状況であるため、道路整備を行い、通学路の安全確保及び生活環境の改善を図る。 | 56,338 | 44,000 | | 7,604 | | 4,734 | 182 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|------|-------|----------------------|------|--------|--------|---|---------|---------|------|--------|-----|---------|---------|
| | | 真栄原9号道路改良事業 | 継続 | H20 | H25 | 本路線は、嘉数小に繋がる主要道路であるが、狭小で歩道設置されておらず、危険な状態であるため、歩道の設置、車道拡幅(11m)を行うことで、安全な通学路を確保する。 | 289,957 | 231,534 | | 40,518 | | 17,905 | 183 |
| | | 野嵩二丁目地内排水路整備事業 | 継続 | H20 | H22 | 当該地域内を通る生活道路は側溝がなく、周辺家屋の雨水は直接路面排水として流れている。降雨の都度、道路が冠水する状況にあり排水路を整備することにより生活環境の向上をはかる。(側溝整備 L=2,140m) H22:工事 | 31,696 | 15,591 | | | | 16,105 | 184 |
| | | 真志喜60号道路改良事業 | 継続 | H22 | H23 | 当該道路を整備し、大山7号と結ぶことで、仮設避難港周辺のアクセス道路になるため、地域振興を支援する道路として整備する。 | 7,000 | 5,600 | | | | 1,400 | 183 |
| | | パイプライン用地取得事業 | 継続 | H22 | H22 | パイプライン用地は、未買収道路用地を残して平成15年度をもって事業完了扱いとなっているが、このたび相続人が決定したことにより、相続人から土地の買上要求があるため、用地を取得し公有地とすることで効果的な活用を図る。 | 31,514 | | | | | 31,514 | 183 |
| | | 我如古地内道路新設整備事業 | 継続 | H20 | H27 | 都市計画道路(3・4・68号我如古線)の代替道路として整備する。我如古線は、S43に都計決定を受け40年経過し、その間に県道34号線整備が行われた。そのため、我如古線の整備目処が立たず、住民説明会等を行い、廃止する方向で進める予定である。 | 522 | | | | | 522 | 183 |
| | | 長田1号道路整備事業 | 継続 | H22 | H25 | 長田1号は、一部歩道がなく、歩行者、車両の交通が交錯し、危険な状態にある。又、沖縄自動車道の建設によって築造された法面(土羽)も浸食が進んでおり、歩道の設置や法面等の保護により歩行者の安全を確保する。計画延長:525m 計画幅員:9.0m | 10,008 | 8,000 | | 1,400 | | 608 | 183 |
| | | 野嵩1区2号道路整備事業 | 継続 | H22 | H24 | 本路線はほとんど側溝がなく、降雨のたびに路面排水が周囲の宅地に流出しまた、舗装の状況も悪い。これらを解決するための歩道側溝設置・路面改良等を行う。 | 3,325 | | | | | 3,325 | 184 |
| | | 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 | 新規 | H22 | H23 | 道路交通の安全性を確保する上で、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換し、橋梁の長寿命化によるコスト削減を図るため、長寿命化修繕計画を策定する。 | 2,000 | 1,100 | | | | 900 | 180 |
| | | 宇地泊第二土地区画整理特別会計繰出金事業 | 継続 | H06 | H26 | 区画整理事業の一般公共事業分と地方特定道路整備事業分の一般財源相当分と財源不足に対する繰出金。施工面積36.2ha、事業施行期間H6～H26、都市計画街路5本、公園面積11,360㎡、保留地面積24,240㎡ | 204,038 | | | | | 204,038 | 187 |
| | | 佐真下第二土地区画整理特別会計繰出金事業 | 継続 | H07 | H26 | 区画整理事業の一般公共事業分と地方特定道路整備事業分の一般財源相当分と財源不足に対する繰出金。施工面積16.8ha、事業施行期間H12～H26、都市計画街路3本、公園面積5,027㎡、保留地面積5,416㎡ | 72,456 | | | | | 72,456 | 187 |
| | | 大山土地区画整理事業 | 継続 | H22 | | 大山地区の特性である宅地と農地が共存する街づくりをすすめるため、農住組合による土地区画整理事業の事業化を目指す。 | 19,256 | | | | | 19,256 | 186 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支税金 | 県支税金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|------------------|-----------------------------|-----------------------|------|--------|--------|--|-----------|-----------|------|---------|--------|---------|---------|
| | | 下水道事業特別会計繰出金事業 | 継続 | S45 | | 清潔で快適な生活環境の確保、雨水による浸水の防除に加え、河川や海等の公共水域の水質保全を目的とする。 | 498,239 | | | | | 498,239 | 187 |
| | | 野嵩第一公園整備事業（補助） | 継続 | S63 | H24 | 野嵩第一公園は地域に唯一残された緑地帯を地域住民の憩いの場として公園及び災害時の緊急避難地として整備する。事業認可面積3.0ha | 127,386 | 63,684 | | 57,315 | | 6,387 | 189 |
| | | 野嵩第一公園整備事業（単独） | | | | | 4,618 | | | | 4,618 | 190 | |
| | | 比屋良川公園整備事業（補助） | 継続 | H03 | H25 | 当該公園は市域に唯一流れる比屋良川を軸に両岸に自然度の高い樹木林を核にできるだけ自然を活かした公園整備を行う。事業認可面積7.4ha H22:用地買収・物件補償・工事 | 158,384 | 79,182 | | 71,263 | | 7,939 | 190 |
| | | 比屋良川公園整備事業（単独） | | | | | 6,340 | | | | 6,340 | 190 | |
| | | 比屋良川公園整備事業（地活金） | 継続 | H22 | H23 | 比屋良川公園と嘉数1号に隣接していることから、新たに公園入り口と駐車場等を整備し、公園と嘉数1号道路を隣接することによって道路利用者の安らぎと憩いの空間と休息の場となり、快適で安全な潤いのある生活環境を創出するとともに、地域間との交流、連携を促進し比屋良川公園へのアクセスが容易になり、地域の歴史と文化を知る場所を提供することができる。 | 11,405 | 5,700 | | 5,100 | | 605 | 192 |
| | | 嘉数四丁目都市緑地整備事業 | 継続 | H20 | H22 | 当該地域は、住宅が密集し公園及び緑地が不足している状況であるため、緑地を増やし生活環境を改善するため整備を行う。工事面積:563.79㎡ | 51,216 | 33,137 | | 10,584 | | 7,495 | 191 |
| | | 海浜公園施設整備事業 | 継続 | H21 | | 老朽化した施設の改修及び改築を年次的に行い施設の充実を図る。 | 36,112 | | | | | 36,112 | 191 |
| | | 佐真下第二（仮称）3号公園整備事業 | 継続 | H21 | H23 | 佐真下第二区画整理事業区内の街区公園として、住民のいこいの場、災害時の避難場所として公園を整備する。用地面積:2,270㎡ 区画整理事業の公園公共施設管理者負担金 | 152,000 | 76,000 | | 68,400 | | 7,600 | 191 |
| | | 嘉数高台公園用地取得事業 | 新規 | H22 | H22 | 当該公園内の所有者不明であった土地について、所有者からの土地立会確認及び買取要望があるため、早期に対応を図る。用地取得面積:174㎡ | 6,031 | | | | | 6,031 | 192 |
| | | 伊佐・伊利原市営住宅建替事業 | 継続 | H19 | H25 | 築30余年を経過し、老朽化した伊佐市営住宅と伊利原市営住宅（A～D棟）を伊利原の敷地に統合し、高層の市営住宅を建設する。 | 479,324 | 331,502 | | 147,800 | | 22 | 194 |
| | | 事業本数 | | 25 | | 小計 | 2,829,223 | 1,290,558 | 0 | 494,343 | 60,000 | 984,322 | |
| 第5章 平和で発展する都市 | 1節 基地の返還と市民のための跡地利用を促進する | キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業（補助） | 継続 | H14 | | SACOの最終報告にて返還合意されているキャンプ瑞慶覧地区について、近隣市町村の広域的な土地利用を踏まえ、返還後の跡地利用を円滑に促進できるように跡地利用計画の策定や地権者の合意形成を図る。 | 12,389 | 11,142 | | | | 1,247 | 77 |
| | | キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業（単独） | | | | | 163 | | | | 163 | 77 | |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規継続 | 事業開始年度 | 事業終了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書のページ |
|----------------|---------------------------|--------------------------------|------|--------|--------|--|---------|--------|------|-----|--------|---------|---------|
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(自然環境調査事業)(補助) | 継続 | H13 | | 軍用地跡地の利用促進を図るため、計画策定上配慮を要する環境条件の把握を目的に、市域の自然環境に関する現況調査を実施する。 | 11,026 | 9,916 | | | | 1,110 | 79 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(自然環境調査事業)(単独) | | | | | 71 | | | | | 71 | 79 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)(補助) | 継続 | H13 | | 普天間飛行場跡地利用促進のため、地権者の意向把握や跡地利用に関する情報の提供等を行うことで、円滑な合意形成を図る。 | 17,767 | 15,983 | | | | 1,784 | 79 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)(単独) | | | | | 447 | | | | | 447 | 80 |
| | | 宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業 | 継続 | H13 | | 返還後の公共施設整備を円滑に進めるため、公共・公益施設用地を計画的に取得する。 | 50,000 | | | | 72 | 49,928 | 80 |
| | | 基地返還跡地転用推進事業 | | | | | 235 | | | | 235 | 0 | 81 |
| | | 普天間飛行場返還促進対策事業 | 継続 | H16 | | 普天間飛行場の危険性は一日も放置できるようなものではなく、引き続き普天間飛行場返還アクションプログラムに沿い、早期閉鎖・全面返還の実現に向けて取り組む。 | 8,338 | | | | | 8,338 | 80 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)(補助) | 継続 | H15 | | 宜野湾市と沖縄県共同で平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と県民・市民・地権者に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。 | 17,149 | 15,426 | | | | 1,723 | 81 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)(単独) | | | | | 196 | | | | | 196 | 81 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(周辺市街地調査)(補助) | 継続 | H20 | | 普天間周辺地区の市街地整備の位置づけを整理し、周辺市街地への取り組みの明確化を進め、普天間飛行場跡地利用計画策定につなげていく。 | 10,193 | 9,169 | | | | 1,024 | 81 |
| | | 普天間飛行場跡地利用計画策定事業(周辺市街地調査)(単独) | | | | | 100 | | | | | 100 | 81 |
| | 2節 未来に向けた 平和行政を推進する | 平和市民啓発事業 | 継続 | H17 | | 次の時代を担う若者に戦争の悲惨さや平和の大切さを引き継ぐため、平和学習派遣事業(長崎市へ市内各小学校より8名派遣)や平和劇市民啓発事業(慰霊の日前に平和劇等の開催)を実施する。 | 2,047 | | | | 250 | 1,797 | 76 |
| | | 公園内戦跡等周辺整備事業 | 新規 | H22 | | 公園内に現存する戦争の爪痕を残す建築物・構造物等の保存や活用を図り平和学習、基地問題を考える環境づくりを進めるため、公園内の戦争遺跡等周辺整備を行なう。 | 17,736 | | | | | 17,736 | 192 |
| | | 事業本数 | | | | 小 計 | 147,857 | 61,636 | 0 | 0 | 557 | 85,664 | |
| 序章 計画推進のために | 1節 電子自治体の推進 | 行政情報化整備事業 | 継続 | H16 | H23 | 戦略的なアウトソーシングの活用及び情報システム全体の最適化等の観点から、全庁における情報システムとの統合と再構築、安定稼働に向けた運用強化等を実施する。 債務負担行為(H17~H23)(システムの運用、保守等の外部委託) | 457,944 | | | | 22,106 | 435,838 | 85 |
| | 2節 効率的・効果的な財政の確立 | 業務マネジメント推進事業 | 継続 | H18 | H22 | 全ての事務事業に対して業務マニュアルと行政評価(事務事業評価)的な機能を組み合わせた「業務マネジメントシステム」を活用することにより、効果的・効率的及びシームレスな業務運営を可能とするPDCA業務マネジメントサイクルを確立する。 | 3,656 | | | | | 3,656 | 68 |
| | | 総合計画後期基本計画策定事業 | 継続 | H21 | H22 | 平成21年度に実施する前期基本計画の評価・検証の結果を踏まえて、後期基本計画(H23-H27)の策定をする。 | 5,290 | | | | | 5,290 | 82 |

| 基本目標 | 施策の大綱 | 事業名 | 新規 継続 | 事業開 始年度 | 事業終 了年度 | 事業概要 | 事業費 | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | 予算書の ページ |
|------|--------|------------------------|----------|------------|------------|--|-----------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------------|
| | | 公共施設維持修繕事業(市長部局) | 継続 | H16 | | 公共施設(市長部局)の簡易な修繕を行い、老朽化した施設の延命や安全性の確保を行う。 | 12,501 | | | | | 12,501 | 73 |
| | | 滞納整理収納対策事業 | 継続 | H16 | | 専門知識及び経験豊富な県税事務所OB等の徴収嘱託員を配置し、徴収業務全般の指導を仰ぎ、体制の強化を図る。嘱託員2人 | 4,129 | | | | | 4,129 | 92 |
| | | 住民票等交付事業 | 継続 | H14 | | 市立博物館で住民票等を交付することにより、市民の利便性に大きく貢献する。 | 3,160 | | | | | 3,160 | 94 |
| | | 宜野湾市トロピカルビーチエリア指定管理者事業 | 継続 | H18 | | 公共施設の管理運営を指定管理者に民間委託し、サービスの向上と管理経費の削減を図り、効率的な管理運営を行う。 委託期間H21～H23(債務負担行為) | 12,400 | | | | | 12,400 | 188 |
| | | 公共施設維持修繕事業(学校施設以外) | 継続 | H16 | | 教育施設の維持修繕を行い、常にメンテナンスを心がけ教育環境の充実に努める。 | 1,500 | | | | | 1,500 | 203 |
| | | 公共施設維持修繕事業(学校施設) | | | | | 35,500 | | | | | 35,500 | 204 |
| | 事業本数 | 8 | | | | 小 計 | 536,080 | 0 | 0 | 0 | 22,106 | 513,974 | |
| | 総事業本数 | 113 | | | | 総合計 | 6,192,406 | 2,213,356 | 421,086 | 1,105,143 | 281,348 | 2,171,473 | |
| | 継続事業本数 | 101 | | | | 継続事業合計額 | 5,923,920 | 2,190,997 | 248,706 | 1,101,043 | 281,348 | 2,101,826 | |
| | 新規事業本数 | 12 | | | | 新規事業合計額 | 268,486 | 22,359 | 172,380 | 4,100 | 0 | 69,647 | |